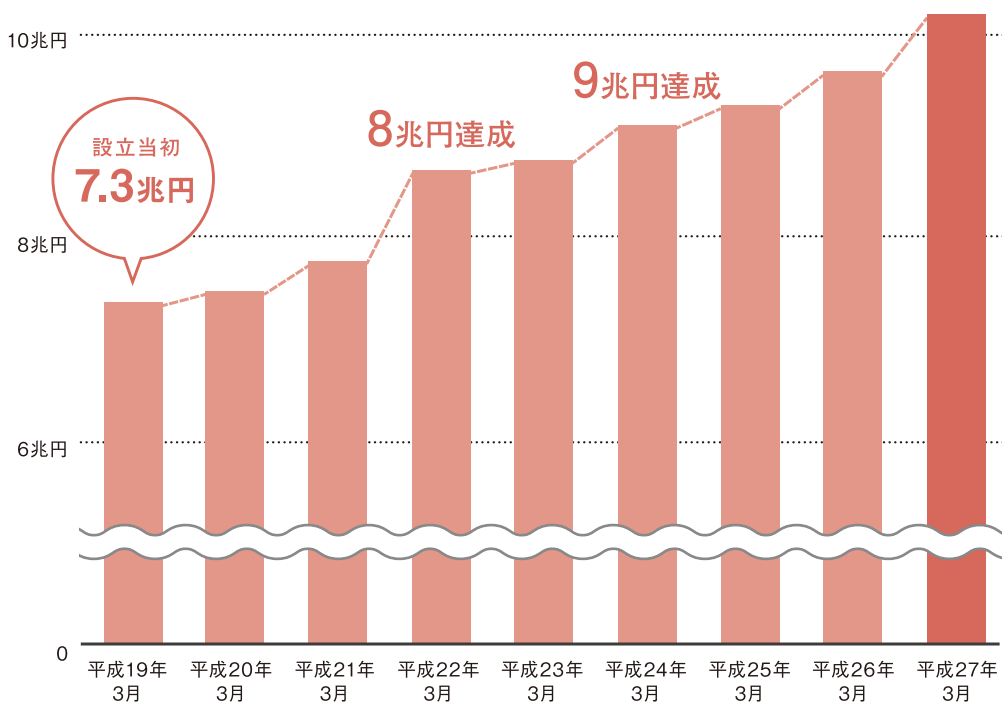


YMFG業績ハイライト

総資産10兆円への歩み



総資産
10兆円
達成!

山口フィナンシャルグループは平成18年10月の設立以来、スケールメリット追求と金融コングロメリット化を進めてまいりましたが、平成27年3月期に目指すべき姿の1つとして掲げていた総資産10兆円を達成いたしました。今後もさらに地域のお客さまに役立つ金融グループを目指してまいります。

収益性について

◎損益の状況

(億円)

	YMFG連結		3行合算				
		前年同期比		前年同期比	山口	もみじ	北九州
経常収益	1,590	△ 21	1,465	12	13	△ 45	11
コア業務粗利益	1,148	10	1,087	13	16	△ 4	1
資金利益	965	25	974	25	30	△ 6	1
役務取引等利益	168	△ 5	125	1	1	0	0
その他	14	△ 9	△ 12	△ 13	△ 14	1	△ 0
経費(△) (除く臨時処理分)	834	△ 17	750	△ 18	△ 10	△ 8	1
人件費(△)	-	-	329	△ 17	△ 11	△ 5	△ 0
物件費(△)	-	-	380	△ 4	△ 0	△ 4	0
コア業務純益	314	27	336	32	27	4	△ 0
経常利益	473	△ 25	497	△ 2	7	△ 18	9
当期純利益	305	△ 7	321	△ 9	10	△ 23	3
与信関係費用	△ 39	29	△ 41	28	40	△ 2	△ 9

※単位未満は切捨て表示。3行合算については3行単体の単純合算数値

連結コア業務純益

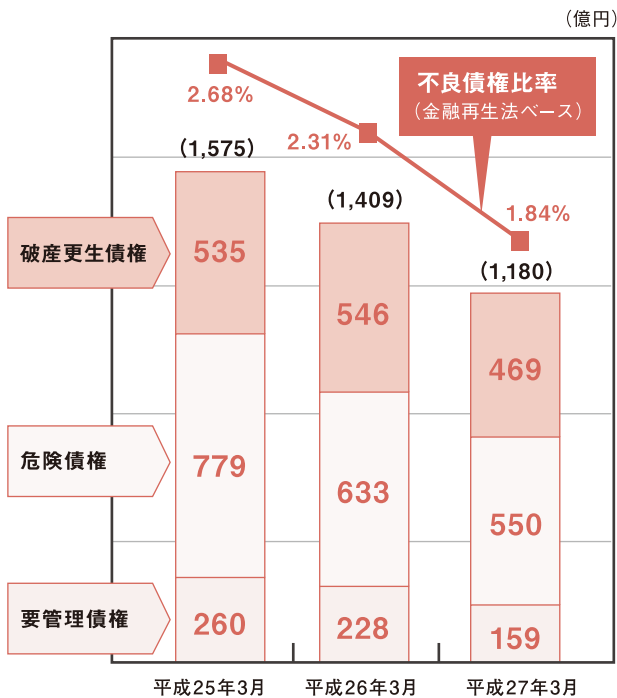
経費減少(前年同期比△17億円)、資金利益の増加(同+25億円)を主因に前年同期比27億円増加して314億円となりました。

連結当期純利益

貸倒引当金戻入益の減少等による与信関係費用増加(前年同期比+29億円)を主因に前年同期比7億円減少して305億円となりました。

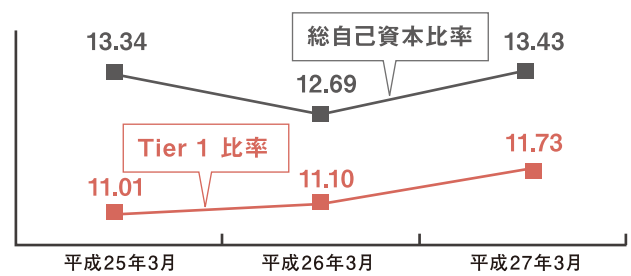
健全性について

◎不良債権比率 (3行合算)



不良債権残高は、前年同期比229億円減少し、不良債権比率も1.84% (前年同期比△0.47%) と大幅に改善いたしました。

◎自己資本比率 (連結ベース)



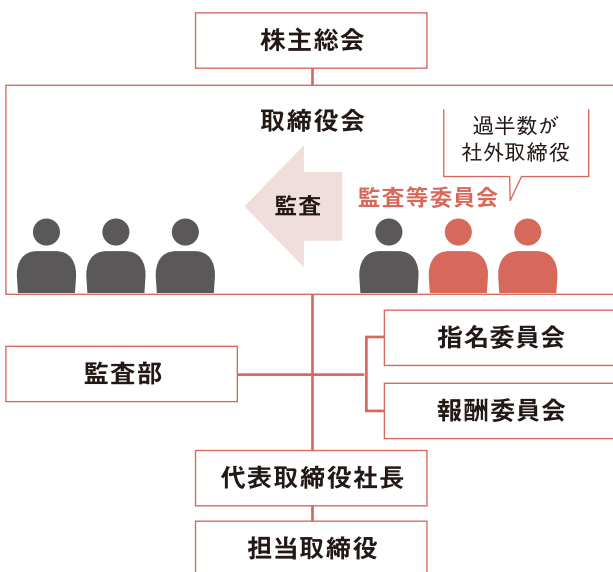
※山口フィナンシャルグループは国際統一基準(バーゼル3)により算出。
 ※山口フィナンシャルグループは信用リスク・アセットの算出において、基礎的内部格付手法を採用。

- 山口フィナンシャルグループ連結ベースで、総自己資本比率13.43% (前年同期比+0.74%)、Tier1比率11.73% (前年同期比+0.63%)。
- 自己資本規制強化の流れの中、引き続き健全な水準を目指します。

自己資本比率とは？

「自己資本」とは、文字どおり自分のお金のことで、返済する必要のないお金を意味します。例えば、多額の貸出金の回収ができなくなるような、予想外の費用や損失が発生し、その損失を収益でカバーしきれないような場合に、この「自己資本」を取り崩して処理することになります。自己資本比率は、総資産のうち、貸出金などの資産(リスク・アセット)に対して、「自己資本」がどれくらいあるかを示す指標で、この水準が高いほど、銀行の健全性は高いと評価されます。

◎グループガバナンスの強化



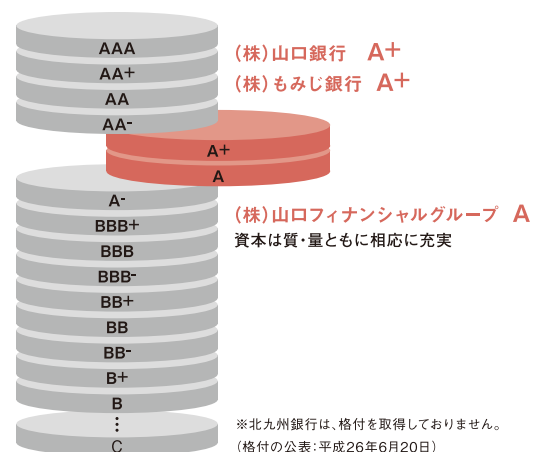
監査等委員会設置会社への移行 (平成27年6月)

※移行会社(上場企業である山口フィナンシャルグループおよびグループ決算に与える影響の大きい山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行、ワイエム証券について移行実施いたしました)

監査等委員である取締役(過半数は社外取締役)に取締役会における議決権を付与することで、各々の監査・監督機能を高めました。YMFGはコーポレート・ガバナンス体制の充実によりさらなる企業価値の向上を図ってまいります。

◎格付情報

[格付会社: (株)格付投資情報センター (R&I)]



お客さまに安心して選んでいただけるための、ひとつの目安として第三者の外部評価(格付)を取得しております。山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行を傘下に持つ山口フィナンシャルグループは格付投資情報センター(R&I)から、信用度について高い評価をいただいております。

外部格付とは？

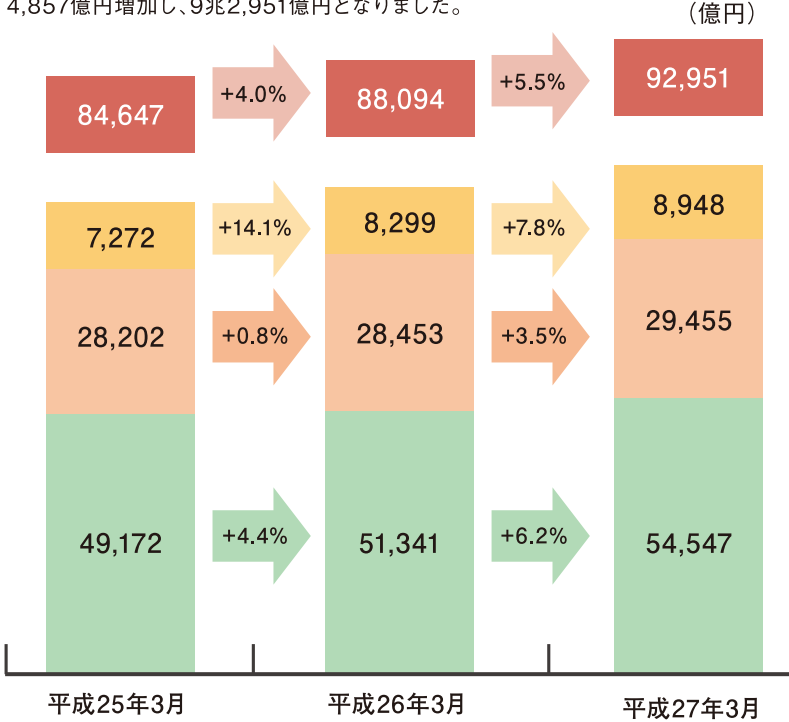
格付機関が財務分析・業界分析などを行って、発行体の信用度を記号で評価することをいいます。投資家が投資を行う際などの参考データとなります。当社では「格付投資情報センター(R&I)」に依頼して格付を取得しています。

預貸金の状況

■ 3行合算 ■ 山口銀行 ■ もみじ銀行 ■ 北九州銀行

◎ 預金 (末残)

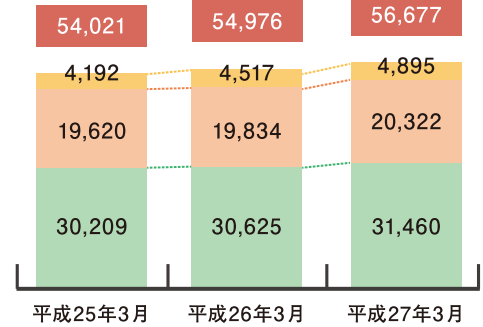
3行合算の預金残高は、流動性預金・定期性預金の増加を主因に4,857億円増加し、9兆2,951億円となりました。



※預金には譲渡性預金を含んでいます。

個人預金残高

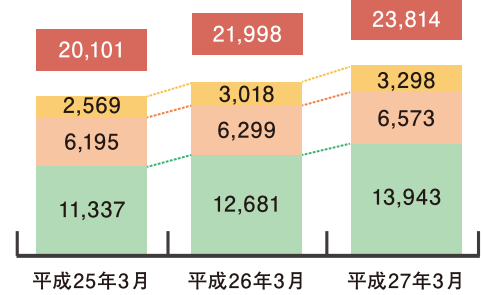
(億円)



※上記計数には譲渡性預金及び海外店分は含んでいません。
※上記計数は本支店間未達勘定整理前の計数です。

法人預金残高

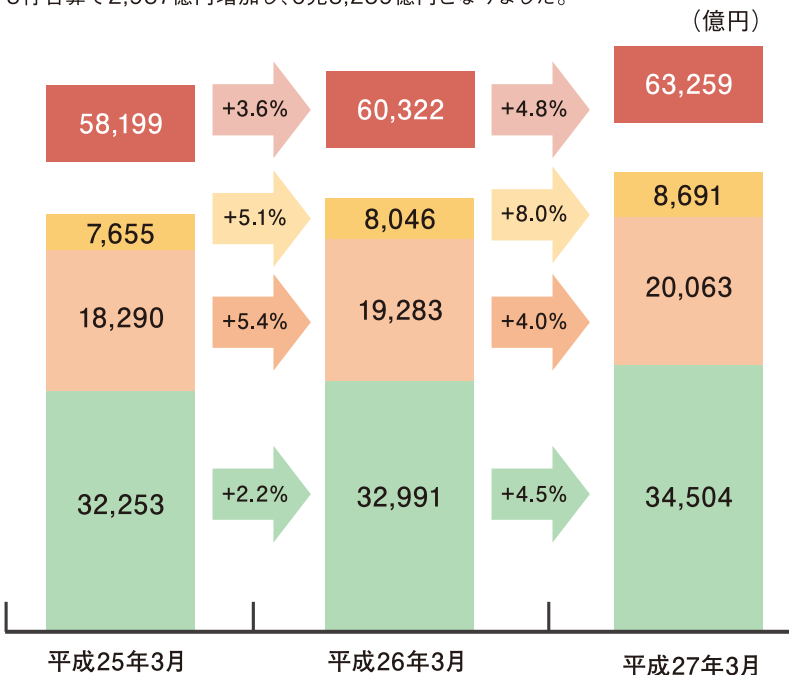
(億円)



※上記計数には譲渡性預金及び海外店分は含んでいません。
※上記計数は本支店間未達勘定整理前の計数です。

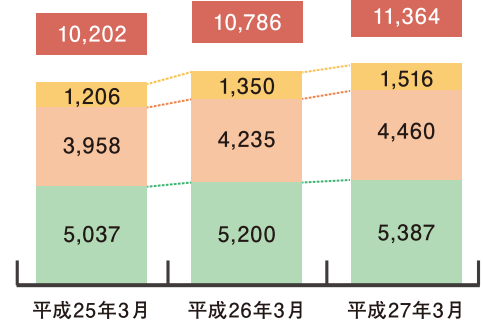
◎ 貸出金 (末残)

貸出金残高は、住宅ローンや地公体向け貸出の増加等を主因として、3行合算で2,937億円増加し、6兆3,259億円となりました。



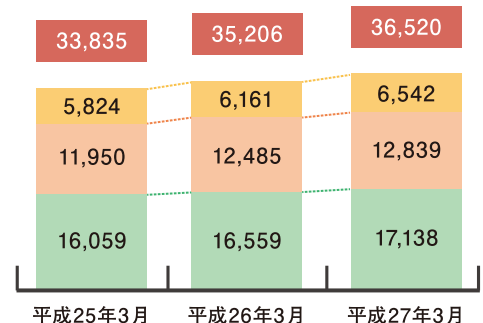
個人ローン残高

(億円)



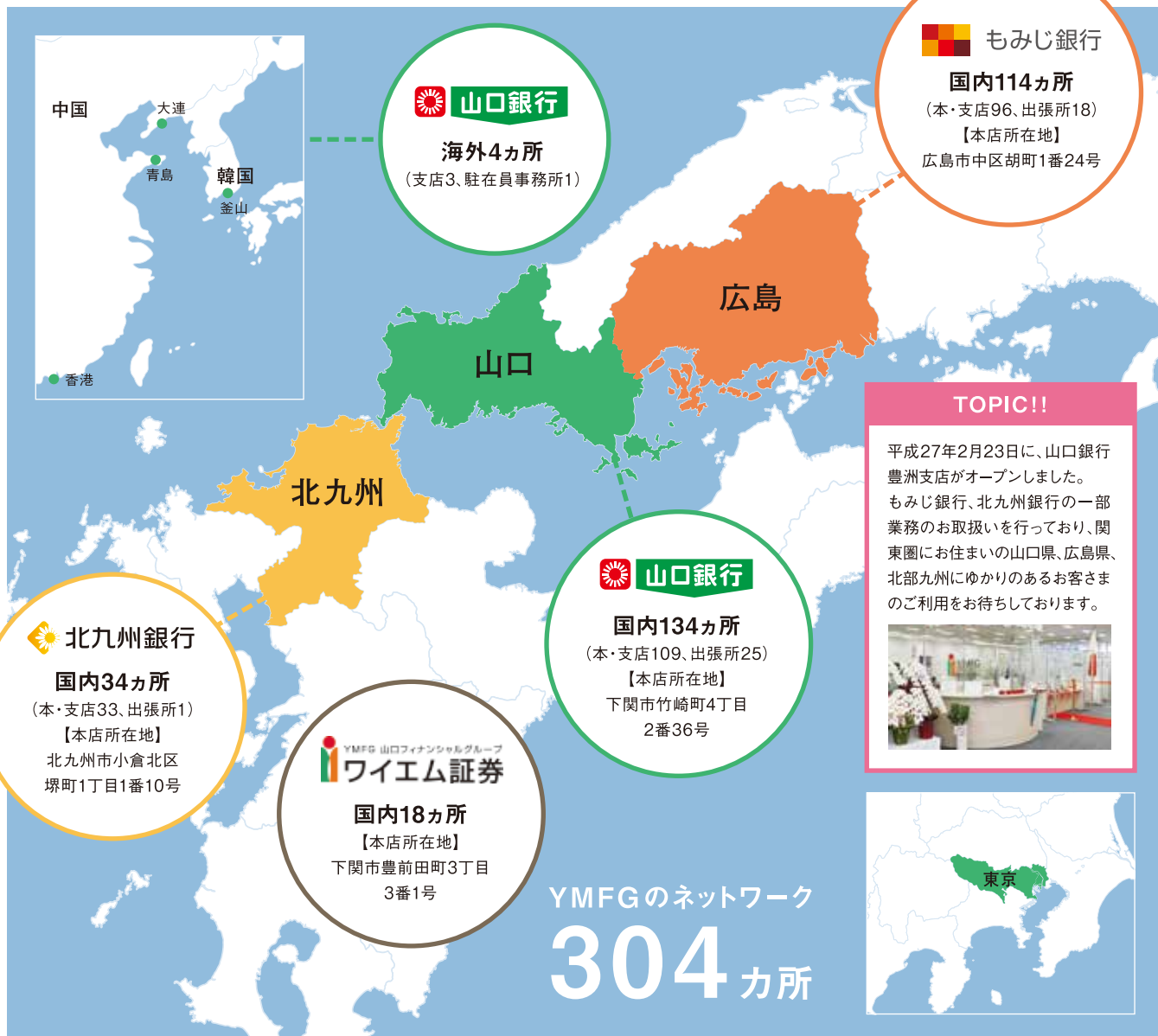
中小企業等に対する貸出金残高

(億円)



※上記計数には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含んでいません。
※中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品貸貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品貸貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等であります。

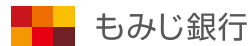
YMFGの店舗網 (平成27年7月31日現在)



グループ企業一覧 (平成27年7月31日現在)



株式会社
山口フィナンシャル
グループ



- ワイエム証券株式会社(証券業務)
- ワイエムコンサルティング株式会社(コンサルティング業務)
- 株式会社井筒屋ウィズカード(クレジットカード業務)
- ワイエムリース株式会社(リース業務)
- 株式会社YMFG ZONEプランニング(地方創生に関するコンサルティング業務)
- ワイエムセゾン株式会社(クレジットカード業務)
- 株式会社北九州経済研究所(金融・経済に関する調査研究)
- 三友株式会社(不動産等の賃貸業務)

- 株式会社やまぎんカードホールディングス(子会社経営管理業務)
- 株式会社やまぎんカード(クレジットカード業務)
- 株式会社やまぎん信用保証(信用保証業務)
- 山口キャピタル株式会社(ベンチャーキャピタル業務)
- もみじ地所株式会社(不動産賃貸業務)
- もみじカード株式会社(クレジットカード業務)
- 一般財団法人山口経済研究所(山口県内経済・産業動向の調査研究)
- 公益財団法人やまぎん地域企業助成基金(地域経済貢献企業に対する助成)